

トップインタビュー

工学部開設で製造業支援

した教育や研究を目指す。少子化の中でどのような特徴を出して学生を集め、教育や研究の強化につなげるのか、北川薫学長に聞いた。

(市川哲寛)

中京大学は4月に情報理工学部を改組して工学部を開設した。機械システム工学科、電気電子工学科、情報工学科、メディア工学科の計4学科を備え、モノづくりとITを融合

中京大学学長

北川 薫氏



情報理工学部を改組して工学部を開設する狙いについて。

「情報理工学部ではコンピュータ科学を中心にバーチャルなモノづくりに取り組んできた。現在のモノづくりは機械系や電気電子系などと情報系とのリンクが重要にな

っており、実際にモノづくりを行う学科を設ける必要性を感じた。人間に例えると情報系が神経で機械系と電気電子系は筋肉。両方を統括できる学生、研究者を育てたい」

中部地区で工学系学部の人気が高いですが、中京大学の位置づけは

「ロボットなどへの学生の関心が高いうえ、中部地区では機械系や電気系エンジニアが足りない」と聞く。工学部の定員300人に対して20倍以上の約6300人が受験し、工学部の人気と必要性を実感した。トヨタ自動車などのグループ企業や三

情報とモノづくりを連携

材を輩出できるだろう」と中部のモノづくりの底力をどう考えますか。

「自動車産業などは裾野が広いので、人同士のネットワークを重視し、助け合いながら事業展開してきた。共同で語用に丁寧なモノづくりを行う文化があり、高品質な部品、製品を作る能力が高い。この文化に活かし、やすい学生を育てて地元企業に就職してもらい、地域への貢献度を高めた

製造業の今後の課題を。

「国内は人口減で消費が伸びにくいため、海外で発展するためのグローバル化がキーワードになる。日本の技術をそのまま移すのではなく、各地域の文化に合わせて生産や販売がしやすいように改良する必要がある。改良には高いコミュニケーション能力が求められるが、中京大学で学べばその能力も十分身に付けられるはずだ」

2011年4月1日にコマツ工機と合併するとともに、本社を東京から富山県南砺市へ移転、同時に社長に就任し、新生コマツNTCをけん引して3年目に入る。コマツグループ産

業機械分野主軸の総合工作機械メーカーとして北陸地域で基盤を固め、事業展開を進める桃井克志社長に現状と今後の展開を聞いた。

(富山支局長・渡辺大介)

コマツNTC社長 桃井 克志氏



足元の景況をどうみている。エンジンやトランスミッション、足回りなど新たなユニット系部品生産が堅調に推移するのではないかと。当社の工作機械は、完成までに6カ月のリードタイムがある。中国の金融引き締めや欧州の太陽光発電導入補助金カットなどで需要の先行きが読みにくい。その

ため新規の用途開発に力を入れる。LED(発光ダイオード)に使用されるサファイア系の切断などシリコンインゴットより硬い材料にも挑戦している。硬くてもろい材料をきれいにカットできれば用途は拡大する」

4月1日付で大幅な組織改編を行いました。製品別事業部制から販売・サービス・設計をさらに強化するため、機能ごとに区分する組織に移行した。完全子会社のトヤマ機工を吸収合併し、機械加工から組み立てまでの一貫体制を構築した。効率化により生産コストの低減や担当商品拡大で営業を強化し収益向上を狙う。レーザー事業は、量産維持を含む生産以外の開発・販売・サービス機能をコマツ産機

高品質とサービス武器に

(石川県)に移管することでシナジー(相乗効果)を見込む。新たに品質保証本部やサービス本部、人材開発部を設けた。高い品質が生産の道であり、アフターサービスもしっかり行いたい。また、技能伝承できる体制をつくり、多能工化を進め社員のレベルアップを図る

今後の事業展開を。

「北陸地域は勤勉で真面目な人が多く、手をかけていものを作ろうというモノづくりが発展する素地がある。引き続きこの地域で生産は続ける。また、まだ円高という認識で誘物や材料などは海外調達割合を増やす。営業とサービス部門は、常にユーザーの近くに置きたい。12年度にメキシコと中国・重慶に営業・サービス拠点を開設した。今後もロシアを含めた東欧や南米、ASEANなどで1、2カ所検討している」

SUGINO

剛速

コンパクトを極め チタン材を高精度・強力切削

**同時5軸制御加工マシン
セルフセンタ® H15B-5AX**

- 主軸サイズNT30、ATCツール15本
- 幅1,000mm、高さ1,850mmのコンパクト設計
- 20,000min⁻¹の高速・高剛性スピンドル
- 横形コラムトラバース方式
加工ラインの自動化にもフレキシブルに対応可能

スギノマシン 精密機器事業部 E-mail: mt@sugino.com
 東京 (03) 5201-5972 名古屋 (052) 973-3070 大阪 (06) 6885-2555 富山 (0765) 24-5113
 浜松 (053) 456-2711 広島 (082) 567-7100 福岡 (092) 441-1288 貿易 (03) 5201-5974
<http://www.sugino.com>

外からは見えませんが、
骨のある会社です。

多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、自動車や航空機等の輸送機械をはじめ、家電製品や情報機器、産業機械など、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。私たちの使命は、素材の力で新たな価値創造に貢献すること。これからも独創の技術で、さらなるフロンティアを目指します。

大同特殊鋼